

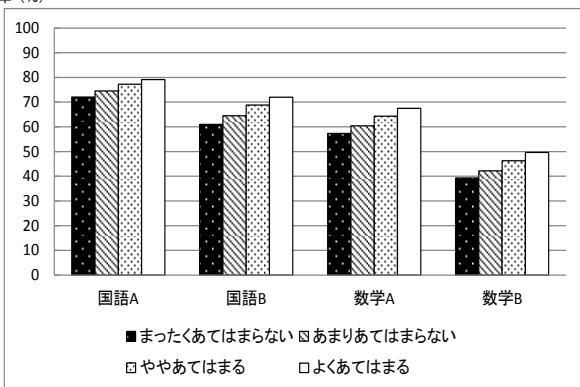
### 3 主体的な学びに関する調査（総合的な学習の時間）

グラフⅠは、国立教育政策研究所が実施した平成28年度全国学力・学習状況調査（中学校）の生徒質問紙の項目について、「総合的な学習の時間」と「各科目」の通過率との相関を表したものである。

また、グラフⅡは、平成28年度広島県高等学校学力調査における、同様の質問に対する回答の結果を表している。

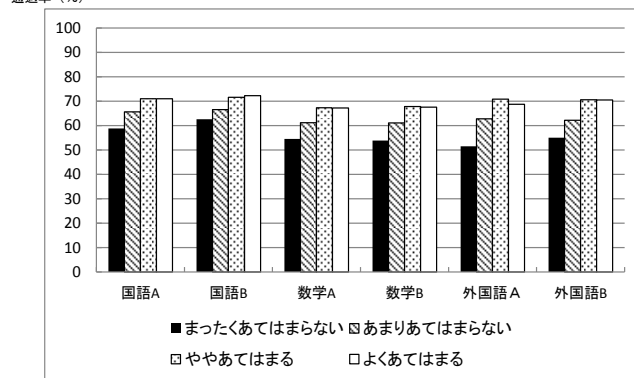
項目「自分で課題を立てて情報を集め整理して調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいます。」

平成28年度全国学力・学習状況調査（中学校）



グラフⅠ

平成28年度高等学校学力調査



グラフⅡ

いずれのグラフからも、「総合的な学習の時間」では、「自分で課題を立てて情報を集め整理して調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいる」という質問に、肯定的な回答の割合が高いほど、通過率が高い傾向があることが分かる。

〔参考〕表 各科目の通過率 (%)

「総合的な学習の時間」では、自分で課題を立てて情報を集め整理して調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいます。	国語A	国語B	数学A	数学B	外国語A	外国語B
よくあてはまる	71.0	72.2	67.2	67.6	68.7	70.5
ややあてはまる	71.0	71.6	67.3	67.8	70.8	70.6
あまりあてはまらない	65.7	66.6	61.2	61.1	62.8	62.2
まったくあてはまらない	58.8	62.5	54.5	53.8	51.5	55.1
全体の通過率	68.6	69.9	64.5	65.1	67.2	67.3

さらに、グラフⅡを教科（科目）ごとに数値化した上の表からは、数学、外国語については、「よくあてはまる、ややあてはまる」という肯定的な回答の通過率が、「あまりあてはまらない、まったくあてはまらない」という否定的な回答の通過率との差が大きいことが分かる。